

高齢者の総合相談窓口です！

余市町地域包括支援センター

包括だより

令和4年2月発行



「介護総合相談スペースあったか」

余市町地域包括支援センター

〈住所〉余市町黒川町12丁目62-1 イオン余市店1階

〈電話〉0135-48-6015 〈時間〉朝9時～夜7時・年中無休

介護や福祉のこと、
なんでもご相談ください

余市町から委託を受けて
運営しています

相談は、訪問・電話・来所など
ご希望に応じます



～認知症になっても安心して暮らすために～

認知症とは・・・認知症は、いったん獲得した知的機能が低下し続け、複数の認知機能障害のために、日常生活を送ることが難しくなる病気です。85歳の約5割、95歳の約8割は認知症になると推定されております。

「老化による物忘れと認知症の違い」

老化による物忘れ	認知症の物忘れ
知り合いの名前が思い出せない。	知り合いであること自体を忘れる。
料理の手順を間違える。	料理の手順そのものを忘れる。
一緒に出掛けた場所を忘れる。	出掛けたこと自体を忘れる。
何を食べたか思い出せない。	食べたこと自体を忘れる。
物忘れの自覚がある。	物忘れの自覚がない。

「早期相談・早期発見の重要性」

「おかしいな」「不安だな」と思ったら、まずはかかりつけ医に相談し、症状によっては、認知症専門の医療機関を紹介してもらいましょう。

認知症のような症状でも、治療可能な病気の場合があり、また、認知症の前段階（軽度認知障害：MCI）の場合は、予防対策をする事で、発症前の状態に近づく可能性があります。早期に認知症とわかった場合、原因によっては進行を遅らせることができます。早い段階で気付く事で、心構えや環境の調整を行うこともできます。

お一人で悩まずにお気軽にご相談ください。

夫や妻、親のこと、「ちょっと心配・・・」「あれ？」「もしかして」と感じたら、
「早め」のご相談を！ 電話 0135-48-6015

「認知症が疑われるサイン」

- 1. 今日の日付がわからない。
- 2. 通り慣れた道なのに迷うことがある。
- 3. 置き忘れやしまい忘れが増えて、いつも探し物をしている。
- 4. つじつまの合わない作り話をするようになった。
- 5. 親しい人との付き合いが減り、外出しなくなった。
- 6. 鍋を焦がしたり、ガスの火を消し忘れるようになった。
- 7. 以前と比べて、ささいなことで怒りっぽくなった。
- 8. 同じものを何度も買うようになった。
- 9. イライラしたり、不安が強くなるなど、情緒不安定になった。
- 10. 同じことを何度も言ったり、聞いたりするようになった。



認知症サポーターになりませんか？



～認知症サポーターとは？～

認知症サポーターは、何か特別なことをするものではありません。
認知症のことを正しく理解し、自分のできる範囲で、認知症の方と
そのご家族を見守り、支えることが役割です。

～認知症サポーター養成講座～

〈人数〉 何名からでも開催できます
(友人同士、区会、会社、団体など、
どなたでも受けられます)

〈時間〉 概ね90分

〈費用〉 無料 (必要な物の準備や手続きは当センターで行います)

〈内容〉 認知症の症状とは？ 認知症の人への接し方など

※場所や日時はお相談に応じます。お申込みお待ちしております！



【お問合せ】 介護総合相談スペースあったか／余市町地域包括支援センター
〈電話〉 0135-48-6015 〈住所〉 余市町黒川町12丁目62-1
イオン余市店1階